

協働の まちづくり

ニュース

Vol.29
2016.8月号



日向ドラゴンアカデミー開講記念イベント DREAM PRESENTATION

日向市ひまわり基金事業推進協議会が主催する、日向ドラゴンアカデミー開講記念イベント「DREAM PRESENTATION」が7月9日(土)に日向市中央公民館で開催されました。さまざまな分野で活躍されている8名のプレゼンターの熱い想いに、来場した約200名の観客からは「私もチャレンジしたい」「これから日の向が楽しみ」などの声があがっていました。

8月から開講する「日向ドラゴンアカデミー」は昨年度策定された「元気な日向市未来創造戦略」の一環で行われる人財づくり事業で、県内外で地域づくりの実績のある方々を講師に招き、地域ビジネス創出や資金調達の手法などを学びます。詳細は裏表紙をご覧ください。

- P 2～3 ○突撃インタビュー「日向木挽唄全国大会実行委員会」
○日向市ひまわり基金事業
- P 4～5 新しい地域コミュニティ組織制度事業
○4地区の動き
- P 6 おひさま通信
○本谷区の紹介 ○自治公民館対抗ミニバレーボール大会
- P 7 特集 ○地域おこし協力隊
- P 8 日向ドラゴンアカデミー講座



日向市ひまわり基金事業市民活動助成事業

公益的な市民活動団体が取り組む、まちづくり（環境美化、防犯、住民間交流など）、人づくり、ものづくり、学習活動などの事業に対して助成しています

助成の額は、事業を実施するために必要な助成対象費用の4分の3以内とし、審査の結果、1事業あたり15万円を限度として交付します。

申請の要件は、

- ①公益性・公開性のある事業であること
- ②市内で実施されること
- ③市から同様の助成・補助を受けていないこと
- ④1団体、当該年度1回限り

申請は随時受付けています。ただし、事業実施1か月前までに申請を行ってください。

助成事業の詳細やご相談などございましたら、お気軽に市役所地域コミュニティ課までお問い合わせください。

【問合せ先】 地域コミュニティ課（教育別館1階）
TEL 0982-52-2111（内線6251）

平成27年度事業実績を紹介します

事業数：11件（内、新規事業：3件）

No.	団体名	事業名	事業実績
1	わんぱく相撲日向場所実行委員会	第10回 わんぱく相撲日向場所	【目的】相撲を通じて、子ども達に社会教育の場に参加する機会を与え、一人でも多くの子ども達に夢を与える。 【実施日】平成27年5月24日 【実施場所】日向市駅ステージ前広場→天候により日向市体育センター 【参加者】200人 【事業内容】日向市・門川町・美郷町・諸塙村・椎葉村の小学生学年別によるトーナメント戦。
2	日向SUPクルージングクラブ	スタンドアップパドルサーフィン(SUP)推進事業	【目的】若い年代層で楽しめるスタンドアップパドルサーフィン(SUP)を、市民の体力向上と新たな滞在型観光のアウトドアスポーツとして確立し、日向市のスポーツ振興と観光振興を図る。 【実施日】平成27年6月7日 【実施場所】金ヶ浜海水浴場 【参加者】350人 【事業内容】県内外一般市民を対象としたSUPコンテストの実施。
3	古澤巖の石神山ミュージックキャンプ実行委員会	古澤巖の石神山ミュージックキャンプ	【目的】レベルの高い指導者による音楽指導。音楽を目指す地元の子どもたちに大きな夢を抱いてもらえるような環境作り。市外の方と地元の方々との交流を行うことによって、日向の良さを知っていただく。 【実施日】平成27年8月18日～8月20日 【実施場所】美ヶ津小学校田の原分校 【参加者】157人（3日間の延べ数） 【事業内容】一流の指導者による丁寧なレッスンを行う。野外でのそうめん流しや川遊びで日向市の自然の魅力に触れる。
4	日向ひまわり国際文化交流実行委員会	日向ひまわり国際文化交流演奏会	【目的】日向市の文化活動団体と、諸外国の文化活動団体との交流演劇を通して、日向市民、活動団体の文化の発展、拡大、国際意識の向上と諸外国への日向市のPRを図る。 【実施日】平成27年7月5日 【実施場所】日向市中央公民館 【参加者】335人 【事業内容】箏曲、雅楽、和太鼓、マンドリン合奏等の演奏。台湾合唱団による合奏。
5	日向七夕まつり実行委員会	第11回 日向七夕まつり	【目的】日向市の伝統的祭りであった七夕まつりを継承し、まつりを通して中心市街地の活性化や市内保育園・幼稚園・学校・社会福祉施設等の制作発表の場にする。また、見学者・製作者同士の世代間交流に繋げる。 【実施日】平成27年6月27日～7月11日 【実施場所】日向市駅東西キャノピー下、日向市駅西口ひむかの杜 【参加者】24,000人（延べ来場者） 【事業内容】期間中、駅に飾りつけを行い、7月4日(土)はステージイベントや物産の販売、軽食の出店。
6	まんなか通り会	まんなかたなばた	【目的】日向七夕まつりに合わせて上町市街地の一部を歩行者天国にし、子ども向けや七夕らしいイベントを行うことで、街への回遊を図り、家族の思い出作りとともに街の賑わいを取り戻すことに繋げる。 【実施日】平成27年7月4日 【実施場所】日向市上町市街地→雨天により日向市駅高架下（七夕まつり会場） 【参加者】50人 【事業内容】旧道西側の市道を交通規制をかけ歩行者天国にし、ソーメン流し、ゲーム、浴衣ファッションショーなど七夕らしい催して家族で楽しめる空間づくり。一雨天により事業縮小。
7	NPO法人日本航海協会	海渡塾（青少年伝統的航海術研修事業）	【目的】パラオ共和国から三重県が譲り受けた伝統的航海カヌーを日向で修繕しているこの機会に修繕作業を通して先人の知恵を学んだり、現代的な航海計器を全く使わずに航海する伝統的航海術を通して、子どもたちに自然の素晴らしさや生きる術を伝える。 【実施日】平成27年9月27日、平成28年3月21日 【実施場所】日向地区中小企業技能センター 【参加者】40人（2回の延べ数） 【事業内容】伝統的航海カヌーの整備体験、プロセイラーによるセーリング講演、伝統的航海術講習。
8	あくがれて牧水実行委員会	なりきり道中 こころ旅～牧水をとおして、自然と自分を知る旅～	【目的】体験型観光プログラムの実践を通じ、牧水のふる里づくりのアピールと、住民主体の地域活性化を推進。観光交流事業にも積極的な参画を図り、「牧水のふるさと」の情報発信に寄与する。 【実施日】平成27年11月3日 【実施場所】東郷町坪谷 牧水公園周辺 【参加者】11人 【事業内容】牧水公園のふるさとの家のスタート・ゴールとして、着物、山高帽など「牧水」になりきるための道具を身に付け、生家や歌碑等、牧水所縁の地を散策。「牧水ご膳」の食のもてなしのほか、柿狩りも企画。
9	NPO法人日向渚を守る会	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動（第5回TAKIKUS CUP）	【目的】大会を通じ県内外のサーファーとの親睦を深めるとともに、サーファー資質の向上を図る。サーフィンを通じて日向市の更なる発展を見込む。 【実施日】平成28年1月2日 【実施場所】お倉が浜海水浴場 【参加者】24人 【事業内容】県内外一般市民（18歳以下も含む）を対象としたサーフィン大会の実施。
10	庄手の自然を守る会	庄手の山ツヅジ再生事業	【目的】庄手区にある山のツヅジを再生させることで、管理作業や鑑賞、イベントを通した地域の交流・活性化を図る。将来的には日向市の行事となれるツヅジ祭りの開催を目指す。 【実施日】平成28年2月7日 【実施場所】日向市大字日知屋（庄手区） 【参加者】33人 【事業内容】山ツヅジ管理整備のための、ツヅジ周りの雑木・雑草等除去作業。
11	ひゅうがイースターフェスティバル実行委員会	ひゅうがイースターフェスティバル	【目的】国際都市・日向で育つ次世代が世界に目を向けるきっかけとすべく、イースターイベントを通して子どもたちに異文化体験をもらう。 【実施日】平成28年3月13日 【実施場所】日向市駅前交流広場 【参加者】1,200人 【事業内容】イースターエッグ探し、卵転がし競争、イースターエッグ作り等の伝統的な行事のほか、各民族衣装体験＆写真撮影、日向市内在住外国人や宮崎大学の留学生との交流など。

突撃!!

日向木挽唄全国大会実行委員会

「ヤーレー 山で子が泣く」の歌い出しで始まり、伸びやかな高音と、華やかさがある宮崎県の代表的な民謡といえば、日向木挽唄ではないでしょうか。テレビのコマーシャル等で誰もが一度は聞いたことがあると思いますが、元々は山師が木材の切り出しなどの作業をする際の仕事唄であり、それが今まで歌い継がれているのです。そんな木挽唄の全国大会が日向市で毎年開催されており、しかも今年で30回という節目の大会が6月11日・12日に行われ、473人が出場し自慢の歌唱を競いました。今回はその日向木挽唄全国大会実行委員長「多田昌穂さん（86歳）」に突撃インタビューをしました。

◆日向木挽唄を始めたきっかけは？

「50歳のころに民謡が好きになり、延岡市にいた先生から民謡を習い始めたのがきっかけ。60歳で定年してからは同僚と一緒に尺八の手ほどきを受け、さらにのめり込んでいった。69歳で日向木挽唄全国大会の実行委員になり、会計を担当しながらも、一方では尺八の伴奏を担当するなど裏方でも活躍をしていました」など、多田さんの話を聴きながら日向木挽唄が好きな気持ちが伝わってきました。

◆日向木挽唄の歌詞について

「ヤーレー 山で子が泣く 山師の子じゃろ 「山師さんたちや 山から山へ 「大工さんより 木挽がにくい 他に泣く子が あるじゃなし 山師ややもめで 子は持たぬ」 仲の良い木を挽き分ける」 ハーチートコ パートコ」

「林業がさかんな山深い地方での、木挽という作業が歌にされたことがわかる。奥山の暮らしを淡々と歌うは、鋸を挽く手の調子にあわせた旋律と、『チートコパートコ』と鳥の声をイメージしたおはやしが、山作業の雰囲気を良くあらわしていく情景が目に浮かびます。歌い始めの『ヤーレー』のワンフレーズで歌い手のレベルは大体わかります」とのこと。

◆日向木挽唄の魅力は？

「大会のときには何百回と同じ唄を聞くが、何回聴いても飽きることがない。とくに『チートコパートコ』のおはやしは、そほくな印象を持たれることが多いが、唄を引き立たせる大事なパートである」多田さんが一番好きなところだそうです。
「幼いころに聴いたり唄ったことのある唄は、大人になってもずっと記憶に残るので、小さい子どもにもたくさん聴いてほしい。現在は小学生・中学生の大会参加者は多いが、高校生になると学問や部活等で忙しくなり辞めてしまう子が大半である。それでも大人になり再び民謡を始めてもらえるよう日向木挽唄の全国大会は続けていきたい」とのことです。

◆30周年を迎えて変わったところは？

「今大会では30周年の節目を記念して、山師の木遣り音頭『ヨントンコーリヤー』を丸太を切る作業風景とコラボして実演しました。実際の作業風景を思い浮かべることで、古き良き時代の雰囲気を感じ、知ってもらえたなら幸いです。

また、今大会から入賞者に賞金を出すことにしたのですが、一部の参加者からは『賞金が目当てで参加しているのではない。この大会に出場することが楽しみで来ている』と言われたときは本当にうれしかった」そうです。

◆今まで苦労してきたこと

「実行委員長としての責任や委員をまとめることは、なかなか一筋縄ではいかない。参加者の案内及び申込みのチェックはミスが無いよう神経をすり減らしながら行っており、不安で夜中に目が覚めることもある」とのこと。

◆最後に一言

「大きなミスや事故もなく無事に大会を成功できたことを嬉しく思います。天気が悪かったので集客が心配でしたが、新聞の折り込みチラシ等の周知効果もあり、ほぼ満席になるなど、今までの大会より来場者は多かったと思います。民謡の大会は全国に数多くありますが、参加者が500人を超える大会はほとんどないので、日向木挽唄全国大会は自信を持って続けていきたいと思います。また、今後は若い人が参加しやすい雰囲気を作りだせるよう、今以上に頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いします」

日向木挽唄全国大会は毎年6月に開催されています。
入場は無料なので、来年はぜひ大会に足を運んでみてはいかがでしょうか。



新しい地域コミュニティ組織制度事業

まちづくり協議会・4地区の動き

◆細島地区の取り組み

5月13日（金）

【平成28年度総会】

に細島小学校体育館で地区住民約200名の出席のもと今年度の総会が開催されました。

昨年度、細島港がボート・オブ・ザ・イヤー2015を受賞した経緯もあり、「みなとを活かしたまちづくり」を進めていくために、勉強会やイベントの開催など今年度の事業計画が協議されました。



【鯉のぼりフェスタ in 日向岬】
日向市観光協会主催の「鯉のぼりフェスタ in 馬ヶ背」牡蠣もあるよ！」がGW期間中の5月3日（火）～5日（木）の3日間、馬ヶ背茶屋駐車場にて開催されました。細島地区住民や日向市民から募った掲げられた約70匹の鯉のぼりや武者のぼりが、5月の青空に元気よく泳ぐ姿眺めながら、満喫することができるイベントになりました。市内外から



◆塩見地区の取り組み 【平成28年度活動決まる】



4月28日（木）、日向市農村父流館において総会が開催され、今年度の活動内容が協議されました。定着しつつある例年の活動に加えて、ブルーベリー葉の収量アップ等の手つきで次々と植えていき、短時間で終了となりました。塩見地区へ移住対策に取組むことが確認されました。

【カライモの苗植え】

6月4日（土）、中村区にある遊休地を活用して250本のカライモの苗植えが行われました。当日は雨の中での作業でしたが、参加者は慣れなれた手つきで次々と植えていき、短時間で終了となりました。収穫時期に保育園や小学校、施設等にも案内をして、収穫の喜びと一緒に体験する「収穫祭」の開催が11月頃予定されています。



【城山周辺を清掃】
6月26日（日）、城山山頂付近の草刈りと花壇への花植えが行われました。



約2時間の作業で、斜面の雑草は刈り取られスッキリに。花壇には暑さに強いマリーゴールドなどが植えられ、きれいに整備されました。

【葉草の里づくり】
6月26日（日）、平岩小学校付近の草刈りと花壇への花植えが行われました。

今年度も精力的に取り組み、将来

◆塩見地区の取り組み 【コクのあるだし醤油できました】

塩見まちづくり協議会は農村交流館の指定管理委託を市から受けており、施設を利用した活動も行われています。だし醤油作りはその中の一つで、6月16日（木）に2時間ほどかけてまろやかでコクのあるだし醤油が作られました。協議会では今後の行事でそうめんやそばのつゆとして使用する予定です。



【東郷地区の取り組み
【平成28年度総会】

4月28日（木）に東郷公民館「さくら館」で、東郷まちづくり協議会総会が開催されました。

今年度より、会長をはじめとする役員が交代となり、新体制での活動がスタートしました。葉草の里づくり事業や空き家対策事業など、様々な活動に取り組んでいく予定です。

【視察団の受け入れ】
6月9日（木）に、大分県日田市三芳地区自治公民館長会より10名の方々が、高齢者の見守り活動等の視察に訪れました。

今後、三芳地区でも高齢化が進行することが予想されており、協議会が取り組んでいる「黄色い旗運動」について意見交換が行われました。

視察団からは、「大変参考になつた。」等の感想をいただきました。

的には、協議会の自主財源に繋げていく予定です。

【心と体を育てる農業体験
【平成28年度総会】

6月18日（土）、平岩農業体験事業の田植えが行われ、平岩小中学校から16名の児童が参加していました。

当日は天候が回復し大勢の参加者で賑わっていました。

下の写真は、綱を引く参加者の様子です。まるで鏡の上を歩いているような神秘的な風景で、子どもたちは元気に走り回っていました。

【地引網 参加者300人超】
5月5日（木）、こどもの日に、お倉ヶ浜海水浴場で地引網が開催されました。前日の天候が悪かったため、開催が危ぶまれましたが、当日は天候が回復し大勢の参加者で賑わっていました。

綱を引く参加者の様子です。まるで鏡の上を歩いているような神秘的な風景で、子どもたちは元気に走り回っていました。

【心と体を育てる農業体験
【平成28年度総会】

6月18日（土）、平岩農業体験事業の田植えが行われ、平岩小中学校から16名の児童が参加していました。

今回植えたのは「クヌタマモチ」という品種のもち米で、耐倒伏性が強く、収穫量が多く見込まれるのが特徴。秋には稲刈りと掛け干し、年未には白で餅つきを計画しており、子ども達が農業の大切さを学ぶ場となっています。

【心と体を育てる農業体験
【平成28年度総会】

6月18日（土）、平岩農業体験事業の田植えが行われ、平岩小中学校から16名の児童が参加していました。

今回植えたのは「クヌタマモチ」という品種のもち米で、耐倒伏性が強く、収穫量が多く見込まれるのが特徴。秋には稲刈りと掛け干し、年未には白で餅つきを計画しており、子ども達が農業の大切さを学ぶ場となっています。

【心と体を育てる農業体験
【平成28年度総会】

6月18日（土）、平岩農業体験事業の田植えが行われ、平岩小中学校から16名の児童が参加していました。

今回植えたのは「クヌタマモチ」という品種のもち米で、耐倒伏性が強く、収穫量が多く見込まれのが特徴。秋には稲刈りと掛け干し、年未には白で餅つきを計画しており、子ども達が農業の大切さを学ぶ場となっています。

【心と体を

あひさま通信 ~各区のご紹介コーナー~

プロフィール

松木 綾子(まつき あやこ)
34歳 東京都出身
ヨガ、ウクレレ、温泉が趣味



主な活動内容

牧水公園と東郷まちづくり協議会のお手伝いをしています。まずは住民の皆さんと交流を深めていくことを大切にしています。その中で、私にできることは何かを日々考えて活動をしています。



日向市の印象は?

とても元気で人柄も良く、これまで訪ねた土地の中で、一番好きです。「日向」という地名のとおり、太陽のパワーをとても感じます。海も綺麗なので、サーフィンにどっぷり浸かりたいと思います。



今後の展望

地域の皆さんと一緒に藁草の里づくりプロジェクトへ向けた「楽しい草を学ぶ会」などを計画中です。未来へつながる自然と共に存した活動を目指しています。土地への誇り・希望・感謝を忘れずに活動します。

地域おこし協力隊を紹介します！

地域おこし協力隊とは…

人口減少や高齢化などの進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、様々な活動を通して地域住民との交流を深めながら、地域の人が気づいていないその地域の魅力を引き出し、地域活性化に貢献してもらうとともに、移住・定住を図り、地域力の維持や強化に繋げることを目的とした制度。

プロフィール

中山 裕貴(やまなか ゆうき)
25歳 大阪府出身
登山、ロッククライミングが趣味



主な活動内容

「道の駅とうごう」で毎月行われるイベントの企画や新商品の開発、店内のレイアウトやポップ作り、Facebook や HP を使っての情報発信。最近は、惣菜も作っています。



日向市の印象は?

人の温かさが印象的ですね。縁もゆかりもない日向に来て半年ほどが過ぎましたが、周りの友人や地域の方々のお蔭で少しずつ馴染んできました。本当に感謝。



今後の展望

私の実家がピザ屋ということもあります。ピザ作りに挑戦したいです。東郷産の米粉で生地を作り、東郷採れの旬野菜をトッピングした「東郷ピザ」はいかがでしょう(笑)

あひさま通信

このコーナーは、日向市内の各区の区長さんにインタビューをし、地元の魅力をみなさんにお伝えするコーナーです。第3弾は、富高地区の本谷区の取り組みを区長さんに教えていただきました。ご協力いただいた河野区長、そして一緒にお話をしてくださったいきいき営農組合の児玉一良さん、本谷区会計の鈴木良雄さん、ありがとうございました！また、下段では日向市区公連のミニバレー大会の結果を載せています。こちらもご覧ください。

Q. 本谷区はどんなところです

富高川を挟んで農業林業を中心とした区で、「富高八幡神社（智古神社）」があるところです。八幡神社は日向十五夜祭の主役になっています。本谷区だけでなく、富高地区の9区全体が関わって神社を盛り上げています。

Q. 本谷区の取り組みを教えてください。

一区の民生委員の河野愛子さんを中心にいきいきサロンでは、おいしい料理をみんなで食べたり、日帰り旅行に行ったりと様々な活動をしています。また、レクレーション大会も行い、良い交流の場となっています。

なかでも農業中心の地区であることを活かした取り組みとして、「富高の郷いきいき営農組合」（以下「営農組合」）主催で行われる「農業体験活動」を、区も一緒になって取り組んでいます。これは、営農組合が地区内の耕作放棄地を借

定

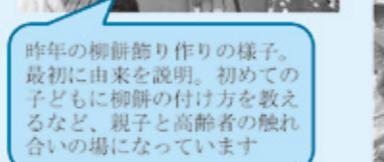
として、

子ども、保護者、そして高齢者まで幅広い世代が集まり交流できるこの活動は、区の行事としても定着してきました。継続して取り組むことで、地域の一体感が深まれば、と思っています。

レクレーション大会の日に餅つきと餅まき、来年2月に柳餅飾り作りを行う予定にしています。



田植えの後はみんなでおにぎりを食べながらの交流



今年の田植えの様子。営農組合の指導のもと、田んぼに一列に並び、もち米の苗を手で植え付けていきます

約1か月後の様子。（7月撮影）順調に伸びています

北パート 優勝

准優勝

第3位

高松区

堀一方区

比良区

南パート 優勝

準優勝

第3位

曾根区

花ヶ丘区

落鹿区



Q. 本谷区はどんなところです

今後は、10月に稲刈り体验と苗植えを実施。会、日知屋の幡浦区育成会も交流として一緒に、田植え体验などを5年前から始めているものです。今年度は6月5日に、もち米のり上げて、本谷区・西川内区の育成

当日は32地区から267名が選手として参加。北パートと南パートに分かれ、各パートで上位入賞が競われつつ、親睦が深められていました。結果は次の通り。

6月19日（日）サンドーム日向で、日向市区長公民館長連合会主催の第26回自治公民館対抗ミニバーレーボール大会が開催されました。

自治公民館対抗ミニバーレーボール大会



本谷区
区長 河野武男さん



日向ドラゴンアカデミーは、昨年度策定された「元気な“日向市”未来創造戦略」の一環で今年度より実施される、若者を対象にした人財づくり事業です。県内外で地域づくりの実績がある齋藤潤一氏を主任講師に招き、人や地域資源を活かしたビジネスの創出や、資金調達の手法などを学びます。

若者の自由で柔軟な発想をまちづくりや地域づくりに活かしながら、若者の新たなチャレンジを応援します。

発見

磨く

発信

講座+視察

徹底的な現場主義。
まち歩きやヒアリングを通じて、地域への理解を深めます。

離島で合宿

地域資源を活用した観光
地域づくりに取り組む鹿児島県三島村を訪問します。

最終プレゼン

グループで、商品開発を行い作成したビジネスプランを市民に向けて発表します。

日向ドラゴンアカデミー講座日程



8月27日（土）10時-16時
<地域ビジネスで世界を変える>
齋藤 潤一《地域プロデューサー》
場所：大王谷コミュニティセンター
●講座+視察フィールドワーク



9月10日（土）-11日（日）
<地域資源を活かした地域づくり>
大岩根 尚《東京大学 環境学 博士》
場所：鹿児島県三島村
●1泊2日離島ジオパークで合宿



10月22日（土）10時-16時
<特産品マーケティング>
土屋 有《宮崎大学 講師》
場所：大王谷コミュニティセンター
●講座+視察フィールドワーク



11月12日（土）10時-16時
<資金0から地域で稼ぐ>
岡田 拓也《クラウドファンディング》
場所：大王谷コミュニティセンター
●講座+視察フィールドワーク

講座の申し込みは、公式 Web サイトから

日向ドラゴンアカデミー

検索

最新情報や活動レポート掲載

※応募多数の場合は、日向市市民・全日程に参加される方を優先的に講座に案内させていただきます。

※日向ドラゴンアカデミーは、日向市ひまわり基金事業推進協議会の人財づくり事業の一環で行われます。

日向市 協働のまちづくり

検索

発行／平成28年8月1日

日向市 総合政策部 地域コミュニティ課 〒883-8555 日向市本町10番5号
TEL 52-2111(内線6251) FAX 56-0018

協働のまちづくりニュース 8月号